

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 金曜・4校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生物の科学 (基礎生物、免疫、病原微生物、感染症学、熱帯医学、及び熱帯学) / Biological Sciences (Immunology, Infectious diseases, Tropical medicine and environment)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 自然科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:栗林 太/Eメールアドレス:kurikuri@nagasaki-u.ac.jp /研究室:熱研炎症細胞機構/TEL:819-7849 /オフィスアワー:毎週金曜日 10:00-13:00			
担当教員(オムニバス科目等)	森本浩之輔、角田隆、本田純久、井上真吾、菊池三穂子、久保嘉直、栗林太		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:生物学、免疫学、ウイルス等の病原微生物学を学習した上で熱帯学の取り組みに関する知見を深めること。 授業方法:講義形式 授業到達目標:感染症、免疫のしくみを理解する。病原微生物に関する幅広い知識を持つ。疫学に関して、自分の考えを持つようにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要):本講義の目的を達成する為に必須の知識である生物学を高校生物の一部も含めてまず講義する。その後、様々な病原微生物、及び媒介動物(害虫等)に関する講義を専門の先生にお願いした。更に感染症を多面的に理解するための疫学公衆衛生的な講義を本田先生にお願いし、実際に、臨床の専門医である森本先生に感染症等に関して詳しく講義して頂く。このシラバスを参考に受講を決めた学生の方々には申し訳ないが、担当して下さる研究所の諸先生は非常に忙しいので、順番や担当者が一部異なる可能性が極めて高い。 栗林太担当 第1、2回:一般生物学とオリエンテーション 第3回:熱帯医学研究所博物館見学 第4回:一般生物学と免疫学 第15回 全授業の総括と理解度の判定 井上真吾先生担当 第5回:ウイルス学1 久保嘉直先生担当 第6回:ウイルス学2 菊池三穂子先生担当 第7回:免疫学 角田隆先生担当 第8、9回:寄生虫学、応用昆虫学 本田純久先生担当 第10、11回:疫学、保健 森本浩之輔先生担当 第12~14回:呼吸器感染症の基礎と熱帯医学の臨床			
キーワード	免疫、病原微生物、感染症、熱帯医学、保健		
教科書・教材・参考書	指定図書なし		
成績評価の方法・基準等	第15回時に行なう理解度の判定の結果(60%)と講義時の評価(40%)等を考慮して行なう。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	高校時の生物未履修学生に対しても、できるかぎり対応できるようにする予定。		